

第19回書道パフォーマンス甲子園 予選実施要領 Q&A

1. 予選動画について	3
問1. 演技の流れを教えてください。	3
問2. 予選参加のために、新たに動画を撮影する必要がありますか。	3
問3. 令和7年12月20日に撮影したものは審査対象になりますか。	3
問4. 動画内に、学校名や生徒の氏名を入れる必要はありますか。	3
2. 撮影方法等について	4
問5. 撮影方法について教えてください。	4
問6. 演技者の正面とはどの方向になりますか。	4
問7. ビデオカメラを設置する高さや角度を教えてください。	4
問8. 撮影した映像に手振れがありましたが大丈夫ですか。	5
問9. 日光を遮断し、体育館の照明を使って撮影することはできますか。	5
問10. 動画に雑音が入ってしまうのですが大丈夫ですか。	5
3. 演技内容等について	6
問11. 演技時間を計測する起点と終点を教えてください。	6
問12. 「〇〇高校です。お願いします。」の部分を使い忘れてしまいました。	6
問13. 少し小さい用紙に揮毫しても大丈夫ですか。	6
問14. 演技に参加する人数に、何名以上という規定はありますか。	6
問15. 予選と本戦では、同じ演技内容と選手で行う必要がありますか。	6
問16. 演技に参加する人数に、補助をしている生徒は含まれますか。	7
問17. 選手以外がカメラに映らずに、声のみを発することは可能ですか。	7
問18. 音楽に関する規定を教えてください。	7
問19. 演技は体操着などの軽装でもかまいませんか。	7
問20. 演技開始前の揮毫用紙に、文字を書くための目印等を付けることはできますか。	7
問21. 演技開始の際、揮毫用紙の上に選手が待機することは可能ですか。	8
問22. 選手全員で揮毫する必要はありますか。	8
問23. カラープレー缶、ハケ、モップ、霧吹きなどを使用することはできますか。	8
問24. 紙吹雪や金粉等を使用して文字等に色付けすることは可能ですか。	8
問25. 風船を使い、それを割る演出はできますか。	8
問26. 作品にリボンを貼り付けることは可能ですか。	8
問27. 演出として、ペンライト及びLED豆電球などを使用できますか。	9
問28. 演出として揮毫用紙以外の紙などに大書しても良いですか。	9
問29. 演技中に揮毫用紙が破損してしまいました。	9
問30. 作品を掲げる方法や時間に規定はありますか。	9

4. 参加申込について	10
問 31. 複数の学校による合同チームで参加することは可能ですか。	10
問 32. 1つの学校で2チームの参加は可能ですか。	10
問 33. 完成写真とはどのようなものですか。	10
問 34. 応募作品が未発表の作品に限るとは具体的にどのようなことですか。	10
問 35. 応募作品は書道パフォーマンス甲子園以外のコンテスト形式の大会で発表しても良いですか。 .	11
5. 参加料について	11
問 36. 参加料を現金書留で支払う場合の宛先を教えてください。	11
問 37. 参加料の領収書は発行されますか。	11

1. 予選動画について

問1. 演技の流れを教えてください。

【回答】

予選DVDの演技及び撮影に関する一連の流れは次のとおりです。

- ①撮影を開始する。
- ②「〇〇高校です。お願いします。」で演技を開始する。
- ③作品完成後、できる限り作品を掲げた状態で「ありがとうございました。」の発声を行い、演技を終了する。
- ④撮影を終了する。

問2. 予選参加のために、新たに動画を撮影する必要がありますか。

【回答】

予選実施要領の規定を満たす方法や期間内での動画であれば、問題ありません。

問3. 令和7年12月20日に撮影したものは審査対象になりますか。

【回答】

審査対象外です。予選実施要領に撮影日を令和8年1月1日以降に撮影したものと明確に規定していますので、厳守してください。

問4. 動画内に、学校名や生徒の氏名を入れる必要はありますか。

【回答】

動画内に学校名や生徒の氏名を入れる必要はありません。ただし、動画をDVDにて提出する場合は、DVDの表面に必ず学校名を記載してください。

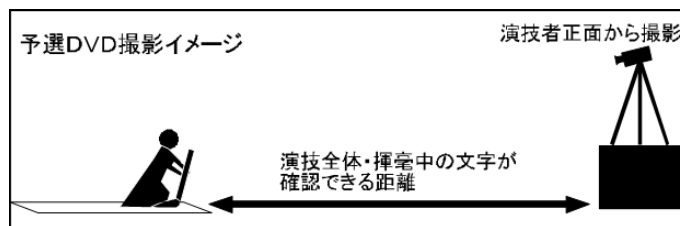
2. 撮影方法等について

問5. 撮影方法について教えてください。

【回答】

公平な審査を行うため、撮影方法は次のとおりとしてください。カメラを移動させながらの撮影や、ズームイン、ズームアウト、カットの編集などは絶対に行わないでください。動画の編集を行った場合は、審査対象外となりますのでご注意ください。

- ・演技者の正面でカメラを固定する。
- ・演技の始めから終わりまでを、録画を止めることなく撮影する。
- ・演技全体と揮毫中の文字が確認できるように撮影する。
- ・一定の倍率で撮影する。

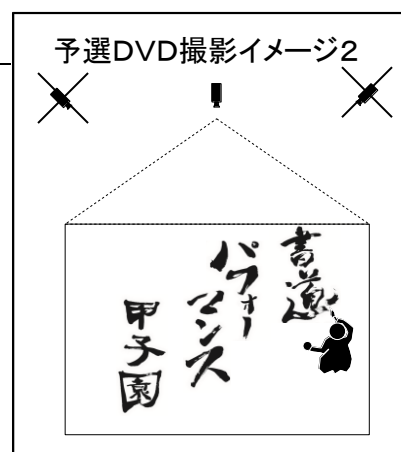


問6. 演技者の正面とはどの方向になりますか。

【回答】

正面とは、右図のとおり揮毫している演技者から向かって正面となり、撮影は基本的に真正面から行ってください。

しかし、撮影場所等の理由から、真正面からの撮影が難しい場合は、多少真正面から外れた場所からでも問題ありません。



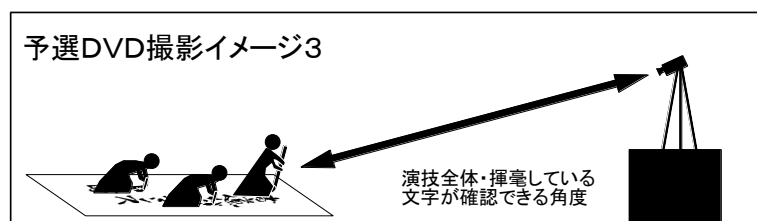
※真上から見た図

問7. ビデオカメラを設置する高さや角度を教えてください。

【回答】

学校によって演技する場所が違うため、撮影する高さや角度に指定はありません。演技全体と揮毫中の文字が確認できるように撮影する必要がありますので、体育館で撮影する場合などは、ステージなどの演技者よりも高い位置から撮影してください。また、2階等から撮影することには問題はありませんが、できる限り正面を向いている演技者の顔が判別できるように撮影してください。

なお、揮毫している文字が確認できないことによるペナルティはありませんが、審査への影響が考えられますのでご注意ください。



問 8. 撮影した映像に手振れがありましたが大丈夫ですか。

【回答】

映像に手振れがあったとしても問題ありません。ただし、映像が観にくい場合は、審査への影響が考えられますのでご注意ください。

問 9. 日光を遮断し、体育館の照明を使って撮影することはできますか。

【回答】

問題ありません。照明による演出を禁止していますが、それは演技中にスポットライトの使用や、照明の色や明るさを人為的な操作によって調整することです。

照明による演出を行った場合は、審査対象外となりますのでご注意ください。

問 10. 動画に雑音が入ってしまうのですが大丈夫ですか。

【回答】

他の部活動や学校が工事中などのために、動画に雑音が入ることは仕方ありません。しかし、音楽が雑音で聴き取り難くなることにより、審査への影響が考えられますので、なるべく雑音が入らない工夫をしてください。

3. 演技内容等について

問 11. 演技時間を計測する起点と終点を教えてください。

【回答】

演技冒頭の「お願いします」の言い終わりから時間計測を開始し、演技後の「ありがとうございました」の言い終わりまで、時間計測を終了します。この間を6分以内としてください。2回続けて発声する場合は、2回目の発声の言い終わりを起点とします。

問 12. 「〇〇高校です。お願いします。」の部分を言い忘れてしまいました。

【回答】

最初から最後まで、演技が撮影できていれば審査を行うことができます。その場合、演技時間の計測開始の起点は、音楽開始時点または選手の行動開始時点のうち、先に始めた時点とします。

なお、言葉を言い忘れたことによるペナルティはありませんが、明らかに演技途中からの撮影であった場合などは審査できないことがありますのでご注意ください。

問 13. 少し小さい用紙に揮毫しても大丈夫ですか。

【回答】

揮毫用紙の大きさは概ね縦4m×横6mと規定し、概ねとは縦3.8m～4.2m×横5.8m～6.2m程度を想定しています。これより明らかにサイズが違っていると認められるものについては、審査対象外となります。

想定内サイズの用紙をご準備ください。

問 14. 演技に参加する人数に、何名以上という規定はありますか。

【回答】

人数に関する下限の規定はありません。しかし、本戦では作品を持ち上げて披露する必要がありますので、最低でも2名は必要であると考えます。

問 15. 予選と本戦では、同じ演技内容と選手で行う必要がありますか。

【回答】

予選と本戦で同じ演技を行わなければならない規定はありません。そのため、本戦は予選と同じ演技でも、違う演技でも問題ありません。

また、参加する選手についても、参加資格を満たしていれば、予選と本戦で異なっても問題ありません。

問 16. 演技に参加する人数に、補助をしている生徒は含まれますか。

【回答】

演技に参加する人数とは、演技開始の挨拶から演技の実施、そして作品掲示までの一連の演技構成に直接参加している生徒を指します。よって、演技の一部を構成せずに、用紙を押さえているだけの生徒などは、演技に参加する人数にカウントしません。ただし、演技者と同様の特別な衣装を着て用紙を押さえているなど、演技に参加していると認められる場合は、演技人数にカウントします。個別の事例については事務局までお問合せください。

問 17. 選手以外がカメラに映らずに、声のみを発することは可能ですか。

【回答】

カメラに映らずに、声を発することは認められません。声を発することができるのは、1 2名以内の選手のみです。

なお、音声を録音し音源として使用することは可能です。

問 18. 音楽に関する規定を教えてください。

【回答】

別紙「音楽使用に関するお願い<予選>」をご覧ください。

問 19. 演技は体操着などの軽装でもかまいませんか。

【回答】

服装についての規定はなく、体操着などの軽装でも問題ありません。ただし、高校生らしい公序良俗に反しない服装としてください。

問 20. 演技開始前の揮毫用紙に、文字を書くための目印等を付けることはできますか。

【回答】

目印や下書き等を行うことはできません。演技は、真っ白な紙からスタートする必要があります。ただし、作品を掲示するための加工として、揮毫用紙の両端にポールを取り付けることや揮毫用紙の裏面にポールを差し込むための袋等を貼り付けること、またポールに紐などを取り付けることはできます。

演技開始前の揮毫用紙に目印や下書き等がある場合は、審査対象外となりますのでご注意ください。

問 21. 演技開始の際、揮毫用紙の上に選手が待機することは可能ですか。

【回答】

問題ありません。演技に使用する道具や型紙等を置くことはできませんが、選手が筆などの道具を持って立つことは問題ありません。

問 22. 選手全員で揮毫する必要はありますか。

【回答】

選手全員が揮毫しなければならない規定はありません。そのため、12名以内であれば、揮毫はせずにパフォーマンスだけを行う選手がいても問題ありません。

問 23. カラースプレー缶、ハケ、モップ、霧吹きなどを使用することはできますか。

【回答】

カラースプレー缶は使用できません。カラースプレー缶を使用した場合は審査対象外となりますので、絶対に使用しないでください。

霧吹きやハケ、モップなどについては、使用することができます。

問 24. 紙吹雪や金粉等を使用して文字等に色付けすることは可能ですか。

【回答】

可能です。

ただし、本戦においては、大量の紙吹雪や金粉等を使用すると、その片づけに時間を要し、他の学校の演技開始が遅れることが考えられますので、本戦での使用量や方法については事務局までご相談ください。

問 25. 風船を使い、それを割る演出はできますか。

【回答】

可能です。

問 26. 作品にリボンを貼り付けることは可能ですか。

【回答】

落款以外の用紙を作品に貼り付けることはできません。リボンの貼り付けは認められません。

問 27. 演出として、ペンライト及びLED 豆電球などを使用できますか。

【回答】

演技の一部で使用する場合は可能です。

照明による演出の禁止とは、演技中にスポットライトの使用や照明の明るさを人為的な操作によって調整することです。ただし、使用する照明器具の種類や量によっては照明による演出に含まれる場合がありますので、事前に事務局までご相談ください。

問 28. 演出として揮毫用紙以外の紙などに大書しても良いですか。

【回答】

問題ありません。

揮毫用紙以外の紙などに揮毫した場合は、その文字等は書道部門の審査対象ではなく、演出の一部としてパフォーマンス部門での審査対象になります。

また、揮毫したものを揮毫用紙に貼り付けると、審査の対象外となります。

問 29. 演技中に揮毫用紙が破損してしまいました。

【回答】

演技中に揮毫用紙が破れるなどの破損は仕方ありません。しかし、審査をするうえで、作品が破損したことによる影響は考えられますのでご注意ください。

揮毫用紙が破損した場合、完成写真の撮影のためにテープ等で揮毫用紙を補修することは問題ありません。しかし、作品に加筆修正した場合は、審査対象外となります。

問 30. 作品を掲げる方法や時間に規定はありますか。

【回答】

予選動画の演技では、作品を掲げる方法や時間に規定はありません。しかし、必ず演技を行った選手12名以内で作品を掲げてください。室内等での撮影のため、作品を垂直に掲げることができない場合は、できる範囲の中で作品を掲げてください。

なお、予選では必要ありませんが、本戦では作品を垂直にした状態で15秒間掲げる必要があります。

4. 参加申込について

問 31. 複数の学校による合同チームで参加することは可能ですか。

【回答】

第 15 回大会から、複数校による合同チームの参加を認めています。チームの編成については、「合同チーム参加規程」を参照してください。

問 32. 1つの学校で2チームの参加は可能ですか。

【回答】

1つの学校から2チームの参加はできません。単独チームと合同チームに分かれたり、合同チームの編成校を変えたりして、1つの学校から2チームが参加することはできません。

問 33. 完成写真とはどのようなものですか。

【回答】

完成写真は、審査員が作品を審査するときに使用するものです。そのため、作品全体を確認することができ、文字が判別できる必要があります。写真の撮影方法は、掲げた状態、床に置いた状態等は問いません。

ただし、写真に加工等を行わないでください。

問 34. 応募作品が未発表の作品に限るとは具体的にどのようなことですか。

【回答】

現在、書道パフォーマンスは全国各地で行われ、様々な大会が開催されるようになりました。こうした中で、本大会としては作品の制作過程にこそ参加者の学びや成長があると考え、本大会への応募作品について他のコンテスト形式の大会で発表していない作品に限ることとしました。

大会の応募ができる未発表の作品とは、本戦や他の大会で審査を受けていない作品、そして本戦や他の大会で審査を受けた作品をベースにしたものでない作品です。他の大会で審査を受けた作品はもちろんのこと、その作品をベースとして、大字や背景等の変更、また言葉や音楽の一部だけを変更した作品などは未発表とは認められません。

今回の未発表に限る措置は、大会に向けた制作過程を重要視し、本大会のために制作活動を促すことが目的です。そのため、これまでの作品の中から、書や言葉、パフォーマンス、音楽などを再度使用することなどは問題ありません。

今日の対応は、他のコンテスト形式の大会で発表された作品を流用することを認めないことであり、結果的に作品が類似してしまうことを禁止するものではありません。単純に考えて、他の大会で発表した作品をベースに、本大会の作品作りを行わなければ問題ありません。

問 35. 応募作品は書道パフォーマンス甲子園以外のコンテスト形式の大会で発表しても良いですか。

【回答】

大会の応募締切日以降に開催される書道パフォーマンス甲子園以外の大会については、応募作品を発表しても問題ありません。

5. 参加料について

問 36. 参加料を現金書留で支払う場合の宛先を教えてください。

【回答】

参加料は1チーム5,000円です。現金書留の宛先は、申込書類の提出先と同じ下記のとおりです。

宛先：書道パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

住所：〒799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号

電話：0896-28-6037

振込先：愛媛銀行 三島支店 普通 5758631

書道パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 大西 賢治

問 37. 参加料の領収書は発行されますか。

【回答】

参加料の領収書は、宛名を『〇〇学校 書道部』としたものを、予選審査結果通知に同封して送付いたします。

領収書が早急に必要の場合は、事務局までご連絡ください。